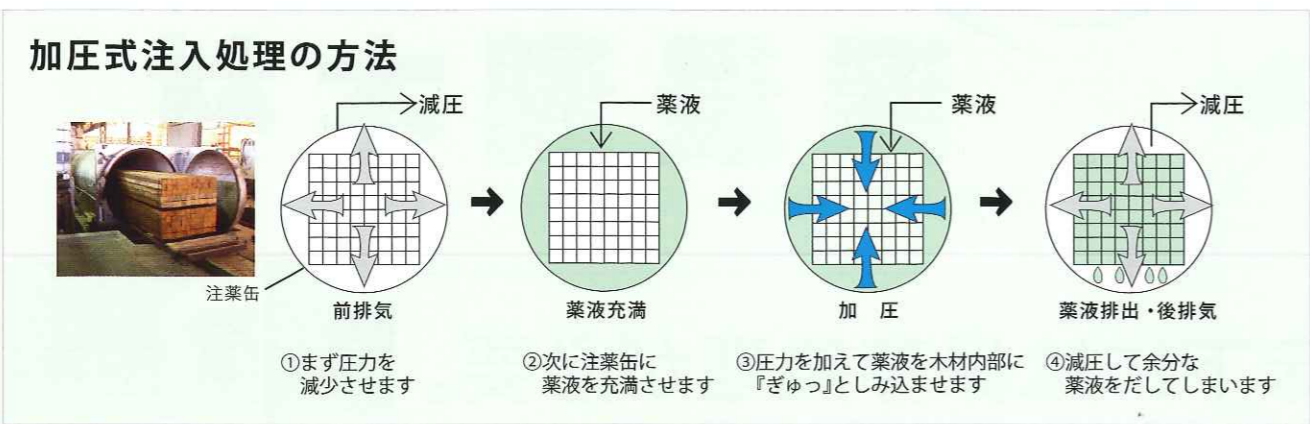


「加圧注入処理」ってどんな処理？

釜の中で木材に圧力をかけて、木材内部まで保存剤を『ぎゅっ』としみ込ませる処理です。



使用環境・樹種の耐久性について

木材は、使用する環境によって、必要な耐久性能がことなります。また、JASによって耐久性能・加圧注入処理による浸潤度が定められています。他樹種によっても、耐久性がことなりますのであわせてご参考ください。

浸潤度の基準の図解 (日本木材防腐工業組合)

JASの性能区分と使用環境		
性能区分	木材の使用状態	具体的内容
K3	通常の腐朽・蟻害のおそれのある条件下で高度の耐久性の期待できるもの	①外気又は湿潤環境に常時露出される場合で接地条件で一定の耐用を期待する。 ②外気又は湿潤環境に常時露出される場合で非接地で中期の耐用を期待する。 ③外気又は湿潤環境にたまに露出される場合で接地条件で長期の耐用を期待する。
K4	通常よりはげしい腐朽・蟻害のおそれのある条件下で高度の耐久性の期待できるもの	①外気又は湿潤環境に常時露出される場合で接地条件で一定の耐用を期待する。 ②外気又は湿潤環境に常時露出される場合で非接地で長期の耐用を期待する。 ③外気又は湿潤環境にしばしば露出される場合で接地条件で長期の耐用を期待する。

樹種の耐久性区分	
心材の耐久性区分	樹種
D1	ヒノキ、ヒバ、スギ、カラマツ、ベイヒ、ベイスギ、ベイヒバ、ベイマツ、ダフリカカラマツ その他これらに類するもの
D2	アカマツ、クロマツ、トドマツ、エゾマツ、モミ、ツガ、ベイモミ、ベイツガ、ラジアタバイン、ペニマツ、スプルース、ロジポールバイン、アガチス その他これらに類するもの

環境への配慮について

大切な森林資源を守るために、小さくてもできることから始めよう。

- ※マクセラムも深浸潤木材(樹種: サザンイエローパイン 処理: マイトレックACQ加圧注入)も、植林木を使用しています
- ※合法的に伐採された木材を使用しています (認定機関: 木材表示推進協議会 合法木材供給事業者会員 会員番号: No269001)
- ※製造元の越井木材工業(株)は、木材を扱うメーカーとして「自分たちが使う木を、自分たちで育てよう」と、マレーシア・サバ州(ボルネオ島)で、アカシア・ハイブリッドの植林を行っています。



お問合せは

製造元

越井木材工業株式会社

西日本SD部 〒559-0026 大阪市住之江区平林北1-2-158
TEL:06-6685-2064 FAX:06-6682-2714
http://www.koshii.co.jp sd@koshiiwoods.com

958-0701-KM

天然木への不安と
樹脂木へのギモンをお持ちの方へ



おすすめの デッキ材が あります

床や笠木には、
割れ・反り・腐れに強いものを。

手足が触れるところだから手ざわりがよく、
反ったり割れたりしにくいモノをお選びください。

マクセラム®-Pシ

根太や大引きには、
耐久性・耐蟻性のあるものを。

床下は、どうしても風通しが悪くなります
適切な腐れ・シロアリ対策をおこなしましょう。

深浸潤木材

(樹種: サザンイエローパイン 処理: マイトレックACQ加圧注入)

床も構造材も
こだわりの木材を
使っています

越井木材工業株式会社

床や笠木には、割れ・反り・腐れに強いものを。

おすすめ!

マクセラム®-P.L.

幅 143mm × 厚さ 24mm × 長さ 1,800mm (樹脂含浸単板積層材)



根太や大引きには、耐久性・耐蟻性のあるものを。

おすすめ!

深浸潤木材

(樹種: サザンイエローパイン 処理: マイトレックACQ 加圧注入)

天然木の
経年劣化

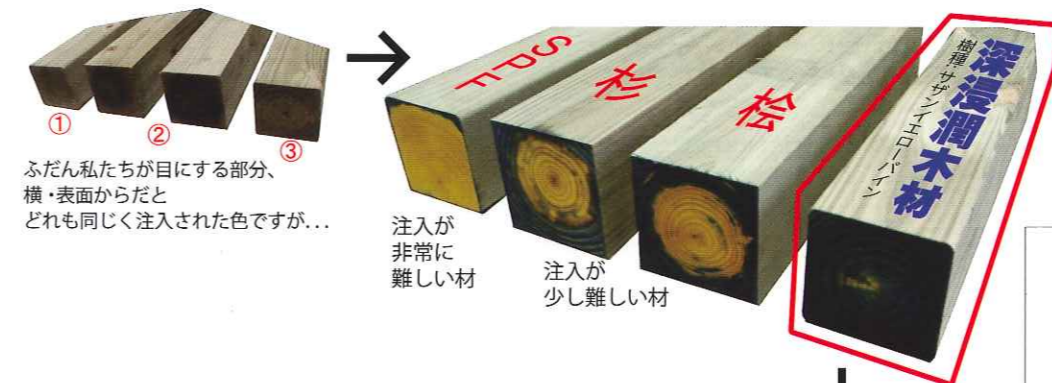


床下には保存処理が必要。

風通しがどうしても悪くなるので、一番腐りやすく蟻害にあいやすい危険な場所です

加圧注入処理じゃないと。

耐久性・耐蟻性。効果の決め手は、「木材保存剤が、木材の内部まで行き届いているか。」
※樹種によっても注入しやすさが異なるので、樹種の選定も重要です

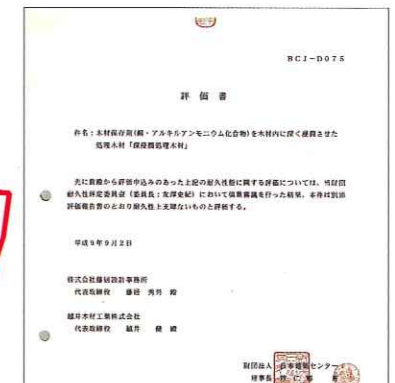


深浸潤木材

安全、安心長持ち床下・構造材には、サザンイエローパインにマイトレックACQを加圧注入処理した木材 = 深浸潤木材 をおすすめいたします

← 注入に最適な材

木材内部まで保存剤がしっかりしみ込んだ深浸潤木材なら、床下の過酷な環境でも安心です

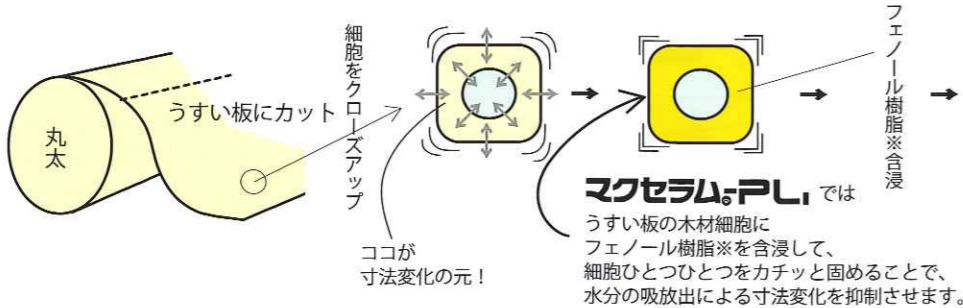


安全

寸法安定・耐久性の秘密は、ココにあります

丸太からうすい板をとります
丸太から、大根の“カツラむき”のように薄い板(単板)をつくります。

木をつくる細胞に「手」をくわえます
細胞内の水分が減ったり増えたりすることで木材の寸法変化(膨潤収縮)がおこってしまいます。



樹脂で材質を変化させうすい板を、タテヨコ交互に貼り合わせることで、強度があって、寸法変化が起こりにくい。さらに、腐朽・蟻害につよい! スパラシイ木質材料がうまれるのです。

※木へのこだわり、「職人」の熱意が込められた製品です

「知らなかった!
デッキを支える部分の材料で、
歩き心地が変わるんだ!!!」

プラスチックや鋼製の束で、足元の構造材を支えるデッキが多い中、
床も構造部も
“すべてを木”にこだわるワケ。

それは、
歩き心地がまったく違うからです。

せっかくウッドデッキを楽しむのだから、木の柔らかさを体感していただきたいと思っています。だから私たち越井木材工業は、床も構造材も、「すべてを木」にすることにこだわっています。

なにごとも、
“見た目”ではなく、
“質”がたいせつですよ!
ウッドデッキには、
「使い心地」と「経年後」を考えて
適切な部材をお選びください。

ウッドデッキにも、
本物の木の質感・風合いと品質にこだわる方に、
おすすめのデッキ材情報をお届けしました。

【マクセラムの名前の由来】 MAXELUM=Max Excellent Lumber! =『サイコウに素晴らしい木質材料!』という意味です
※フェノール樹脂=食器や家電などに使われる一般的なプラスチックの成分。